

第 59 回宇宙科学技術連合講演会オーガナイズドセッション企画書 (案)

1.セッション名:

「将来型宇宙輸送システムの姿とその技術課題」

2.オーガナイザー:

主催 日本航空宇宙学会空気力学部門委員会

担当者

麻生 茂 (九州大学大学院工学研究院)

鈴木宏二郎 (東京大学大学院新領域創成科学研究科) *代表連絡者

3.セッションの概要:

日本のロケット技術は成熟へと進みつつある。このような時期にこそ、将来の宇宙輸送システムに向けて、バラエティに富む発想力や独創力を発揮すべきだと思われる。このセッションの目的は、将来型宇宙輸送システムをテーマに、空力、制御、構造・材料、推進、軌道、設計等の種々の分野から最新の成果やアイデアの発表を行い、情報と意見交換の場とすることである。

4.セッション構成 (予定)

- ・将来型宇宙輸送システム構想関連
- ・空気力学関係
- ・機体空力と推進、空力と構造など、分野統合的な研究課題
- ・飛行実験構想

など、オーガナイザーからの依頼講演と一般申込講演を合わせて計4セッション(16件)程度を予定している。(昨年、空力一般として同じ内容のセッションを行った際の実績から予測)

5.個別発表課題と発表者、所属、アブストラクト

調整中

6.その他

- ・一般の講演者の追加を受け入れる
- ・10月8日午後~9日の時間帯を希望

以上